Cisco Business 350 シリーズ マネージド スイッチ クイック スタート ガイド

Cisco Business 350 シリーズ スイッチには、製品によって異なるクイックスタートガイドがあります。使用するクイックスタートガイドのバージョンを確認するには、以下の製品 SKU を参照してください。

クイックスタートガイド（2 ～ 3 ページ）

CBS350-8T-E-2G	CBS350-16T-2G	CBS350-24T-4G	CBS350-48FP-4G	CBS350-48P-4X
CBS350-8P-2G	CBS350-16T-E-2G	CBS350-24P-4G	CBS350-24T-4X	CBS350-48FP-4X
CBS350-8P-E-2G	CBS350-16P-2G	CBS350-24FP-4G	CBS350-24P-4X	
CBS350-8FP-2G	CBS350-16P-E-2G	CBS350-48T-4G	CBS350-24FP-4X	
CBS350-8FP-E-2G	CBS350-16FP-2G	CBS350-48P-4G	CBS350-48T-4X	

クイックスタートガイド（4 ～ 5 ページ）

CBS350-8S-E-2G	CBS350-24MGP-4X	CBS350-8XT	CBS350-24XS
CBS350-24S-4G	CBS350-12NP-4X	CBS350-12XS	CBS350-24XT
CBS350-8MGP-2X	CBS350-24NGP-4X	CBS350-12XT	CBS350-24XTS
CBS350-8MP-2X	CBS350-48NGP-4X	CBS350-16XTS	CBS350-48XT-4X

クイックスタートガイド

Cisco Business 350 シリーズ マネージドスイッチ



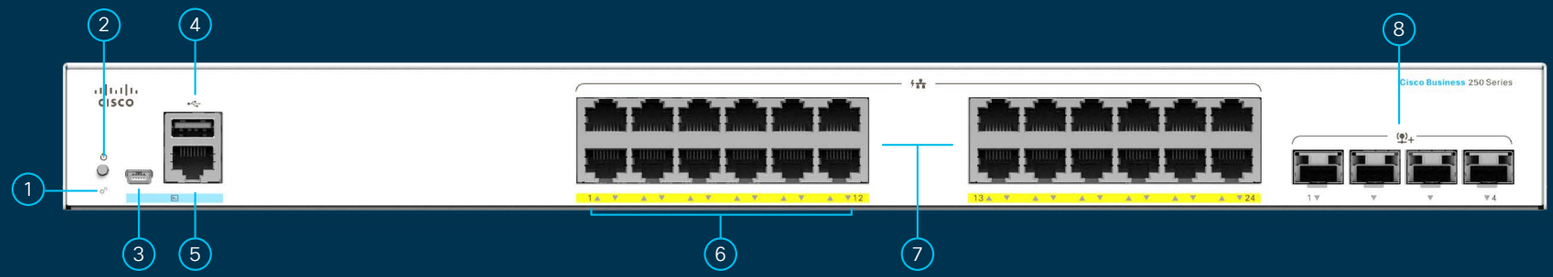
Cisco Business 350 シリーズ スイッチをご購入いただきありがとうございます。
当シリーズは、細かい設定をしなくても標準スイッチとしてすぐ動作するように設計されています。
デフォルト設定では、スイッチの電源がオンになると接続されているデバイス間でパケット転送が開始されます。

梱包内容

- Cisco Business 350 シリーズのスイッチ
- 電源コードまたはアダプタ
- ラックマウント / ウォールマウントキット
- クイックスタートガイド
- 中国 RoHS 対応のポインタ カード
- テクニカルサポートの連絡先

製品の機能

1. システム LED
2. リセット ボタン
3. Mini USB コンソールポート
4. USB ポート
5. RJ45 コンソールポート
6. LINK/ACT LED
7. ギガビット ネットワーク ポート
8. SFP/SFP + アップリンクポート



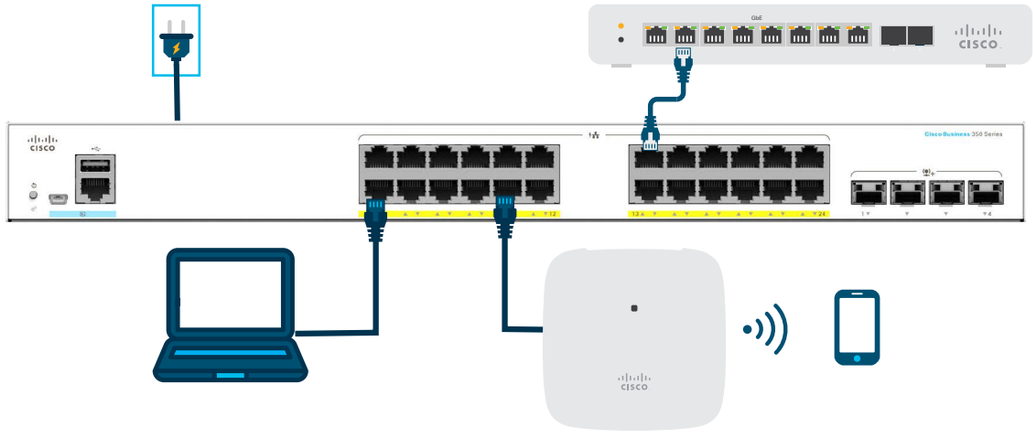
START HERE

ご用意いただくもの

- ネットワークデバイス接続用の RJ-45 イーサネットケーブル（カテゴリ 5e 以上）
- ハードウェア取り付け用工具
- イーサネットポート（またはアダプタ）と Web ブラウザ（Firefox、Chrome、Safari、Edge）を搭載したコンピュータ
- Wi-Fi 機能が付いたモバイルデバイス（モバイルアプリケーションを使用して設定）

接続

スイッチの電源コードをコンセントに差し込みます。



スイッチの準備

モバイルアプリケーションを使用:スイッチを既存のワイヤレスネットワークに接続します。これがワイヤレスアクセスポイント(上記)、ワイヤレスルータ、またはメッシュエクステンダとなります。DHCP サーバーとして機能する、上記のルータまたはスイッチが必要です。接続が完了したら、「設定」セクションに進んでアプリケーションをダウンロードします。

Web ユーザーインターフェイス (UI) を使用:イーサネットケーブルを使用して、コンピュータをいずれかのスイッチポートに接続します。コンピュータの電源が入っていることを確認してから、「設定」セクションに記載された Web UI の設定手順に進んでください。

LED 機能

LED	緑 (点灯)	緑 (点滅)	オレンジ	オフ
システム	スイッチは DHCP から IP アドレスを取得済みである、または静的 IP アドレスが手動で設定されている。	起動中、セルフテストの実行中、IP アドレスの取得中、工場出荷時設定の IP アドレスの使用中のいずれか。	点滅している。ハードウェア障害が検出された。	スイッチの電源がオフになっている。
LINK/ACT	対応するポートと別のデバイスとのリンクが検出された。	ポートがトラフィックを転送している。		リンクがダウンしています。

設定

Cisco Business モバイルアプリケーションのダウンロード

ここで QR コードをスキャンしてアプリケーションをダウンロードするか、cisco.com/go/cbsapp にアクセスしてインストール手順に従ってください。

代替方法 : Web UI の設定

1. ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合、スイッチは IP アドレスの取得を試みます。スイッチが DHCP から IP アドレスを取得できない場合は、工場出荷時設定の IP アドレス 192.168.1.254 とサブネットマスク /24 が使用されます。
   - スイッチが工場出荷時設定の IP アドレス 192.168.1.254/24 を使用する場合、コンピュータには 192.168.1.2 ～ 192.168.1.253 の範囲内で未使用の IP アドレスを選択する必要があります。
2. Web ブラウザ ウィンドウを開きます。
3. アドレスバーにスイッチの IP アドレスを入力して **Enter** を押します。(例 : **http://192.168.1.254**)。
   スイッチのログインページが表示されます。
4. 次のデフォルトのログイン情報を入力します。
   - ユーザ名 : **cisco**
   - デフォルトのパスワード : **cisco**
   (パスワードは大文字と小文字を区別します)
5. [**Log In**] をクリックします。

これで、スイッチを設定する準備が整いました。詳細については、アドミニストレーション ガイドを参照してください。

マウント

設置手順の詳細については、「**サポートについて**」**セクション**を参照してください。

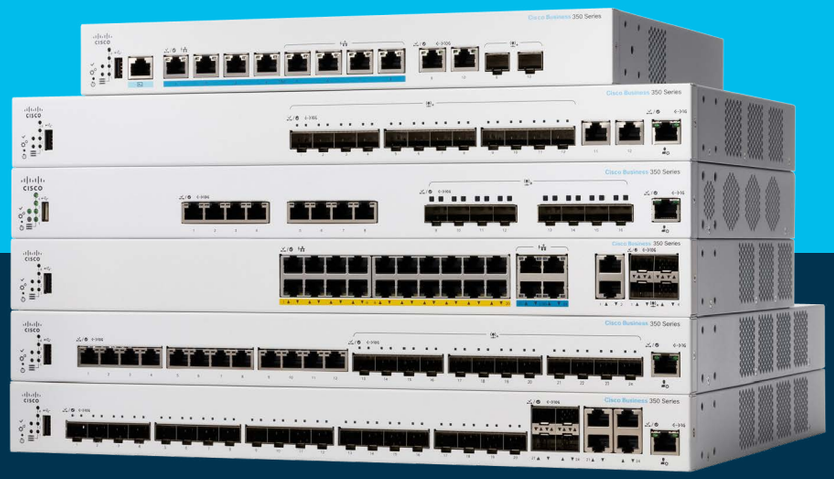
サポートについて

シスコサポートおよびその他のドキュメント (設置手順およびアドミニストレーション ガイドを含む) については、https://cisco.com/go/cbs350 を参照してください。

©2021 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved. Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
シスコの商標の一覧については、https://www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。
「パートナー」または「partner」という用語は、シスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

クイックスタートガイド

Cisco Business 350 シリーズ マネージドスイッチ



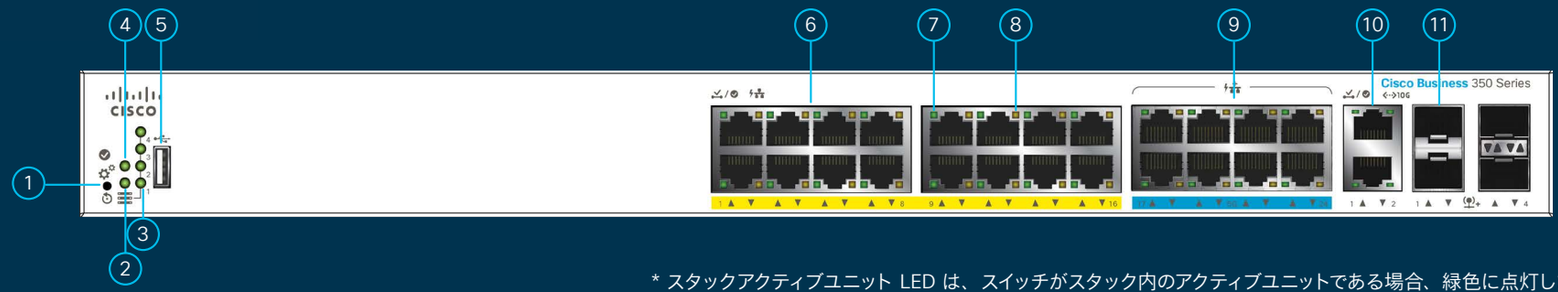
Cisco Business 350 シリーズ スイッチをご購入いただきありがとうございます。
当シリーズは、細かい設定をしなくても標準スイッチとしてすぐ動作するように設計されています。
デフォルト設定では、スイッチの電源がオンになると接続されているデバイス間でパケット転送が開始されます。

梱包内容

- Cisco Business 350 シリーズのスイッチ
- 電源コードまたはアダプタ
- ラックマウント / ウォールマウントキット
- クイックスタートガイド
- 中国 RoHS 対応のポインタ カード
- テクニカルサポートの連絡先

製品の機能

1. リセット ボタン
2. システム LED
3. スタックユニット ID LED*
4. スタックアクティブユニット LED*
5. USB ポート
6. ギガビット ネットワーク ポート
7. LINK/ACT LED
8. PoE/ ギガビット /10 ギガビット LED（モデルによって異なる）
9. マルチギガビット ネットワーク ポート
10. 10 ギガビット ネットワーク ポート
11. SFP/SFP+ ポート



* スタックアクティブユニット LED は、スイッチがスタック内のアクティブユニットである場合、緑色に点灯します。スタックユニット ID LED の横に表示された数字（緑色に点灯）は、スタック内のスイッチのユニット ID を示します。

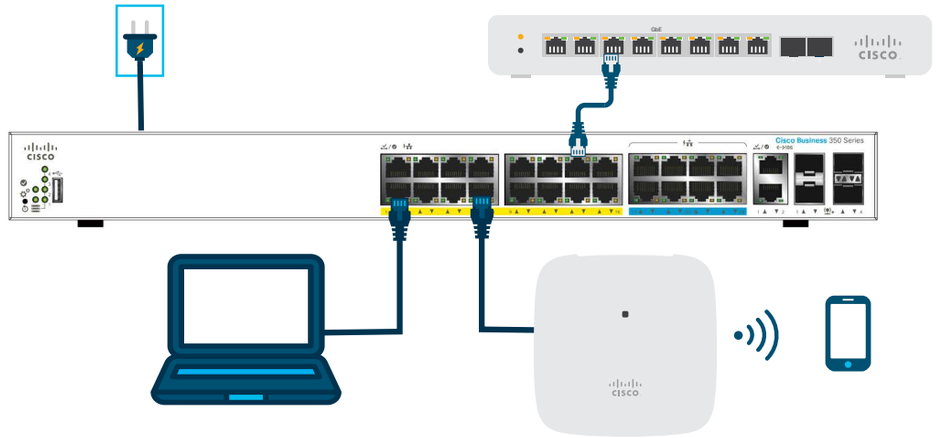
START HERE

ご用意いただくもの

- ネットワークデバイス接続用の RJ-45 イーサネットケーブル（カテゴリ 5e 以上）
- ハードウェア取り付け用工具
- イーサネットポート（またはアダプタ）と Web ブラウザ（Firefox、Chrome、Safari、Edge）を搭載したコンピュータ
- Wi-Fi 機能が付いたモバイルデバイス（モバイルアプリケーションを使用して設定）

接続

スイッチの電源コードをコンセントに差し込みます。



スイッチの準備

モバイルアプリケーションを使用:スイッチを既存のワイヤレスネットワークに接続します。これがワイヤレスアクセスポイント(上記)、ワイヤレスルータ、またはメッシュエクステンダとなります。DHCP サーバーとして機能する、上記のルータまたはスイッチが必要です。接続が完了したら、「設定」セクションに進んでアプリケーションをダウンロードします。

Web ユーザーインターフェイス (UI) を使用:イーサネットケーブルを使用して、コンピュータをいずれかのスイッチポートに接続します。コンピュータの電源が入っていることを確認してから、「設定」セクションに記載された Web UI の設定手順に進んでください。

LED 機能

LED	緑 (点灯)	緑 (点滅)	オレンジ	オフ
システム	スイッチは DHCP から IP アドレスを取得済みである、または静的 IP アドレスが手動で設定されている。	起動中、セルフテストの実行中、IP アドレスの取得中、工場出荷時設定の IP アドレスの使用中のいずれか。	点滅している。 ハードウェア障害が検出された。	スイッチの電源がオフになっている。
LINK/ACT	対応するポートと別のデバイスとのリンクが検出された。	ポートがトラフィックを転送している。		リンクがダウンしています。
PoE*			点灯 ポートに接続されているデバイスに電力が供給されている。	電力が供給されていないか、ポートに何も接続されていない。
Gigabit*	1000 Mbps リンクが確立されている。			接続速度が 1000 Mbps 未満か、ポートに何も接続されていない。
10 ギガビット *	10 Gbps リンクが確立されている。			接続速度が 10 Gbps 未満か、ポートに何も接続されていない。

* 存在する場合。モデルによって異なります。

設定

Cisco Business モバイルアプリケーションのダウンロード

ここで QR コードをスキャンしてアプリケーションをダウンロードするか、cisco.com/go/cbsapp にアクセスしてインストール手順に従ってください。

代替方法 : Web UI の設定

1. ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合、スイッチは IP アドレスの取得を試みます。スイッチが DHCP から IP アドレスを取得できない場合は、工場出荷時設定の IP アドレス 192.168.1.254 とサブネットマスク /24 が使用されます。
   - スイッチが工場出荷時設定の IP アドレス 192.168.1.254/24 を使用する場合、コンピュータには 192.168.1.2 ～ 192.168.1.253 の範囲内で未使用の IP アドレスを選択する必要があります。
2. Web ブラウザ ウィンドウを開きます。
3. アドレスバーにスイッチの IP アドレスを入力して **Enter** を押します。(例 : **http://192.168.1.254**)。
   スイッチのログインページが表示されます。
4. 次のデフォルトのログイン情報を入力します。
   - ユーザ名 : **cisco**
   - デフォルトのパスワード : **cisco**
     (パスワードは大文字と小文字を区別します)
5. [**Log In**] をクリックします。

これで、スイッチを設定する準備が整いました。詳細については、アドミニストレーション ガイドを参照してください。

注 : アウトオブバンドポート経由でスイッチを設定する方法については、アドミニストレーション ガイドを参照してください。

マウント

設置手順の詳細については、「**サポートについて**」**セクション**を参照してください。

サポートについて

シスコサポートおよびその他のドキュメント (設置手順およびアドミニストレーション ガイドを含む) については、https://cisco.com/go/cbs350 を参照してください。

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

©2021 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved. Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
シスコの商標の一覧については、https://www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。
「パートナー」または「partner」という用語は、シスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)